

平成26年度 特別支援学校機能強化モデル事業 成果報告

(1) 特別支援学校のセンター的機能充実事業

団体名	茨城県教育委員会
-----	----------

【事業概要】

1. 事業実施前の現状と課題（平成25年度）

(1) 外部人材を活用した研修及び実践研究による特別支援学校の専門性の向上

- ・特別支援学校に在籍する児童生徒の障害の重度・重複化、多様化に伴い、給食等において配慮を必要とする児童生徒が全体の27%程度在籍しており、特に知的障害及び肢体不自由特別支援学校においては、全ての教員が安全で適切な食事指導の在り方について専門性を向上させる必要性が浮き彫りとなった。
- ・県内の知的障害特別支援学校13校及び肢体不自由特別支援学校3校を指定し、歯科医師、歯科衛生士、看護師、作業療法士、栄養士を外部人材として活用した食事指導に関する教員の専門性を高めるための講演会や各部における実践研究、小・中学校等への相談事業を行った。
- ・障害の特性や発達段階に応じた摂食・嚥下指導や食環境の調整等の障害のある児童生徒への食事指導の在り方について、基礎的な知識と技能を身に付けることができた。

(2) 地域の小・中学校等の教育的ニーズに応じた相談・支援の充実

- ・県内の全学校（園）を対象に特別支援学校のセンター的機能の活用に関するアンケートを実施し、校種ごとの特別支援教育に関するニーズを把握した。
- ・小・中学校等の教員や保護者に対して講演会や相談事業の案内を行い、広く参加者を募った。
- ・相談事業では、地域の小・中学校等の教員や保護者から、全75件の相談があった。
- ・外部人材から個々の教育的ニーズに応じたアドバイスを直接受けることができた。
- ・特別支援教育巡回相談（県事業）における相談実施状況等とも併せ、地域の小・中学校等における特別支援教育に関するニーズ把握を継続的に行っていく必要がある。

(3) 『食事指導ガイドブック』の作成とその活用

- ・障害のある乳幼児及び児童生徒に対する安全で適切な食事指導を進めるために必要な内容について、外部人材を活用してまとめ、特別支援学校の専門性の向上を図ることができた。
- ・県内の各学校（園）や市町村の関係機関等にも配布し、障害のある乳幼児等の食事指導にかかわる保護者や教員等も活用できるようにする必要がある。

(4) 地域のニーズを考慮した研究テーマの設定

- ・小・中学校等からの教育的ニーズに応じて、県内の特別支援学校が必要な支援を行うためのセンター的機能をより強化するため、発達障害等やキャリア教育等にも研究内容を広げていく必要がある。

2. 事業を通じて得られた成果と課題（平成26年度）

(1) 外部人材を効果的に活用した実践研究（OJT）による特別支援学校の専門性向上

- ・指定校21校が活用した外部人材は、今年度から地域のニーズも考慮し、下表に示す6つの研究テーマで取り組んだことにより、昨年度より71人増えて93人であった。また、研修会等で活用した回数は、377回と1.4倍となった（平成25年度280回）。その中で、ケース検討や授業改善研修等の実践研究での活用が157回と、全体の約42%を占めている。

研究テーマ	概要
見えにくさのある子供への支援	I C T機器等を活用した視覚障害の特性等に応じた支援の充実に関すること
聞こえにくさのある子供への支援	聴覚障害の特性等に応じた言語発達を促す指導の工夫・改善等に関すること
障害の特性等に応じた自立活動の工夫・改善	障害の状態や発達段階等に応じた子供の実態把握の方法や自立活動の指導の充実に関すること
発達障害等のある子供への支援	障害の特性等に応じたI C T機器等の活用による学習指導の工夫。改善及び生活支援に関すること
食べる機能に障害のある子供への支援	食べる機能のメカニズムや食環境の調整等に関することや、P C D Aサイクルを意識した安全で適切な食事指導の工夫・改善に関すること
障害のある子供の卒業後に向けた支援	将来の生活を見据えたキャリア教育の視点を踏まえた授業改善及び関係機関との連携等に関すること

- 各指定校における外部人材を活用した実践研究を計画的に進めたことにより、障害のある子供の実態把握の方法や、個別の指導計画の作成、学習評価の工夫等に関する教員の専門性を高めることができた。

- 各指定校とも、各部や学年集団単位での実践研究が多かったため、担当する教員の専門性は高まったものの、学校全体での専門性向上に十分に寄与したとは言い難い。そのため、実践研究の成果を整理し、学校全体で共通理解できる手立ての工夫が求められる。**課題A**

(2) 地域のニーズに応じた相談・支援体制の充実

- 地域の幼稚園、小・中学校、高等学校等の教員や保護者、保育園・福祉施設等の職員等に対する相談は、指定校21校で計5,129件(H25:4,323件)と、806件増加しており、地域におけるセンター的機能の活用が進んでいるといえる。

- 専門家を活用して相談業務に当たることができたことで、専門的かつ的確な助言が得られたほか、必要に応じて大学等の専門機関へ支援をつなげることができた。

- 各指定校における実践研究や相談業務での成果を踏まえ、特別な教育的支援を必要とする子供への支援の考え方や、障害の特性とそれに応じた支援例等を『特別な教育的支援を必要とする子供へのサポートブック』としてまとめ、県内の各学校(園)に配布した。

- 各指定校の実践研究等の成果を共有するとともに、複数の特別支援学校が連携・協力して、地域の小・中学校等からの要請に幅広く応じることができる手立てを講じる必要がある。**課題B**

(3) 障害の特性等に応じたI C T機器を活用した学習・生活支援

- タブレット端末等のI C T機器の効果的な活用方法について外部人材を活用し、全体研修会や各部のケース検討や授業研修等で助言を得ることで、障害のある児童生徒が学びやすさや生活のしやすさを高めるための個に応じた教材の工夫や支援機器の効果的な活用方法についての専門性を高めることができた。

- 該当する指定校においては、各学校における実践研究の成果を踏まえ、小・中学校等に対して効果的な活用事例について情報提供を行い、センター的機能の充実を図った。

- 今後は、各指定校における実践研究の成果を指定校内で活用することはもとより、地域の小・中学校等の教員へ積極的に情報発信するなどの手立てを工夫していく必要がある。**課題C**

3. 解決策（次年度の取組等）

前年度の取組における課題A、課題B、課題Cから、以下の(1)～(3)をそれぞれの解決策（事業の柱）として取り組んでいくこととした。

(1) 課題Aに対する解決策

＜特別支援学校としての専門性向上＞

- ・実践研究や相談業務における成果を整理し、校内で共有できる手立てが必要であるため、校内授業研究や研修会を計画的かつ組織的に実施するとともに、それらの成果等を必要に応じてデータベース化するなど、情報の共有化に努める。

(2) 課題Bに対する解決策

＜特別支援学校間の連携＞

- ・従来からの障害種別の専門性のほか、下表に示すとおり、県内5地域で6つの研究テーマで実践研究等に取り組んだ成果を、特別支援学校間で共有できるようにするため、各特別支援学校での研修会や授業研究等に積極的に参加する。
- ・複数の特別支援学校が連携して、地域からの要請に幅広く応じることのできる相談・支援体制の構築に努める。

(3) 課題Cに対する解決策

＜センター的機能の活用を促すための『特別支援学校活用ガイドブック(仮称)』の作成・配布＞

- ・各特別支援学校での実践研究等で高めた専門性をまとめ、地域の小・中学校等の教員がセンター的機能を活用する際の一助となるガイドブックを作成する。

＜特別な教育的支援を必要とする子供に関する事例発表会の開催＞

- ・指定校において実践研究や相談業務で支援を継続的に行った事例等を発表することにより、地域の小・中学校等の教員が特別な教育的支援を必要とする子供への理解を深め、指導や支援の工夫・改善を図る。

＜特別支援学校機能強化モデル事業実践発表会の開催＞

- ・各特別支援学校で得られた成果をパネルセッション形式で研究テーマごとに発表することにより、特別な教育的支援を必要とする子供の実態把握や具体的な支援内容・方法等に関する情報提供や相談業務等を行い、特別支援教育に関する専門性の向上を図る。

【推進地域及び指定校一覧】

推進地域	研究テーマ（機能別）	指定校	
茨城県内の全学校（園） 1, 295校（園）	(1) 見えにくさのある子供への支援	①	茨城県立盲学校
	(2) 聞こえにくさのある子供への支援	②	茨城県立水戸聾学校
	(3) 障害の特性等に応じた自立活動の工夫・改善 〔聴覚障害、知的障害、 肢体不自由、病弱〕	③	茨城県立霞ヶ浦聾学校
		④	茨城県立北茨城特別支援学校
		⑤	茨城県立水戸特別支援学校
		⑥	茨城県立友部東特別支援学校
		⑦	茨城県立鹿島特別支援学校
		⑧	茨城県立美浦特別支援学校
		⑨	茨城県立つくば特別支援学校
		⑩	茨城県立協和特別支援学校
	(4) 発達障害等のある子供への支援	⑪	茨城県立水戸飯富特別支援学校
		⑫	茨城県立内原特別支援学校
		⑬	茨城県立土浦特別支援学校
		⑭	茨城県立伊奈特別支援学校
	(5) 食べる機能に障害のある子供への支援	⑮	茨城県立友部特別支援学校
		⑯	茨城県立勝田特別支援学校
		⑰	茨城県立下妻特別支援学校
		⑱	茨城県立境特別支援学校
	(6) 障害のある子供の卒業後に向けた支援	⑲	茨城県立水戸高等特別支援学校
		⑳	茨城県立大子特別支援学校
・		茨城県立結城特別支援学校	